

株主の皆様へ

第90期 報告書

2014年4月1日  2015年3月31日

当社を取り巻く経済環境から申しあげますと、世界経済は米国経済が個人消費の牽引により堅調に推移する中で、全体として緩やかな回復基調が続きました。国内においても、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減等がありました。政府の経済政策に

カセロネス銅鉱山のフル操業の遅れ以外は、順調に推移した1年となりました。

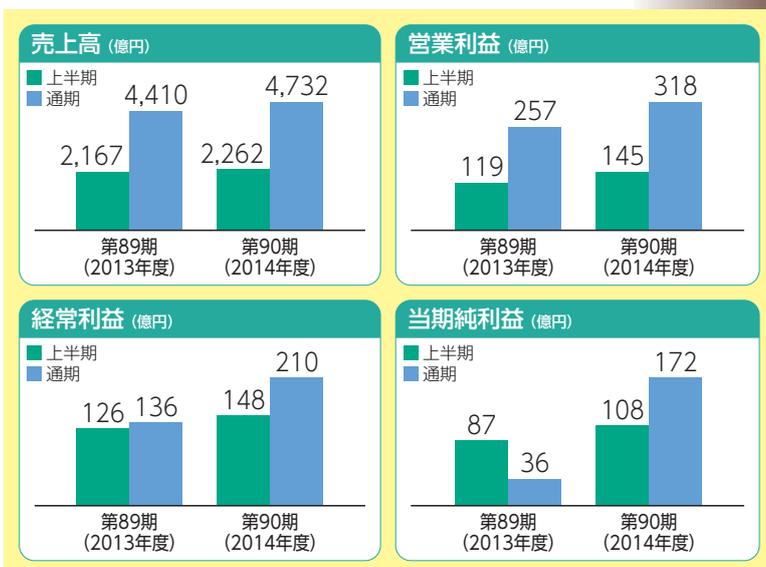
Q1 第90期（2014年度）の概況をお聞かせください。

トップインタビュー
13中計を成功させ、さらなる収益方向上を目指します

トップインタビュー



代表取締役社長 仙田真雄



contents	→ トップインタビュー 1	→ 第90期レビュー データ編 6
	→ CLOSE UP 神岡鉱業、水力発電所大規模更新 5	→ 第90期レビュー ニュース編 7

よる円安・株高、原油価格の急落等を背景とした企業業績や雇用情勢の改善があり、緩やかな回復基調で推移しました。

こうした経済環境の中で、三井金属グループの2014年度の売上高は、前期比7・3%増の4,732億円、営業利益は前期比23・7%増の318億円となりました。経常利益は、パンパシフィック・カップパー株式会社(当社32・38%出資※)が開発を進めているチリのカセロネス銅鉱山のフル操業の遅れによる減損損失等を計上した結果、前期比54・5%増の210億円、当期純利益は前期比370・7%増の172億円となりました。

※2015年3月31日現在

Q2 3カ年の中期経営計画(13中計)の折り返し点を過ぎましたが、進捗と今後の展開についてお聞かせください。

メリハリある「攻め」と「守り」による持続的成長をテーマとした各事業の戦略は、概ね計画どおりに進捗しています。

13中計は、カセロネス銅鉱山のフル操業の遅れを除くと、概ね計画どおり進捗しています。13中計はメリハリある「攻め」と「守り」の事業戦略を基本コンセプトにしておりますが、まずは「攻

3月に生産能力増強を図った上尾事業所(埼玉県上尾市)の設備稼働率が高くなっています。現在、付加価値の高いマイクロシンを需要に応じてマレーシアでも生産できるよう準備を進めております。

金属事業では、鉱石を主体とする製錬を中核に置きつつ、酸化亜鉛原料をはじめとした様々なリサイクル原料比率をさらに高めていくことに軸足を置いた「リサイクル製錬」へのシフトを進めています。当社は全国に様々な製錬設備を有しており、取り扱うことができる金属の品種の多さが強みのひとつと言えます。取り扱う金属の品種が多いということは、含まれる不純物が多種多様化するため、その対応技術が必要となります。当社では今まで培った製錬技術や設備を活かして、従来の工程を強化すること等で様々なリサイクル原料への対応力に磨きをかけていきます。

資源開発では、南米ペルーのアタラヤ鉱区において探鉱を進めています。リスクの定量的な把握を心がけ、鉱山という長期間の事業運営であることを踏まえて、実効性、採算性を見定めながら開発を進めていきます。

自動車機器事業を展開する三井金属アクト株式会社においては、インドネシアの製造・販売拠点の2015年4月の操業開始、メキシコの製造拠点の第2期拡張工事完了と2015年6月の本格操業開始など積極的な海外展開を実施しま

め」の事業戦略から説明いたします。

「攻め」につきましては、2014年4月に持続的な成長をさらに加重・加速させるため、全社の組織改編を実施しました。機能材料事業本部をタイムリーに経営資源を集中投下できる規模に再編(電池材料・触媒・機能粉・銅箔・薄膜材料・セラミックス)し、さらに総合研究所の研究・開発機能について、スピード向上を目的として機能材料事業本部直轄としました。

金属事業本部においては、鉱石を原料の主体とする製錬からリサイクル原料を主体とするリサイクル製錬への転換を志向する金属事業部、これまで以上に採算性を重視する資源事業部、パンパシフィック・カップパー株式会社の経営管理を主とした銅事業統括部に再編しました。これらの改編は計画どおりの成果が上がってきていると考えています。

次に、「攻め」についての個別の事業展開としては、まずは、機能材料事業の排ガス浄化触媒における海外展開が挙げられます。インド、インドネシア、ベトナムと積極的に展開してきた海外拠点が、順調に戦力化し、収益に大きく貢献しつつあります。2015年4月にはインドの第2製造拠点が予定どおり操業を開始し、旺盛なインドの需要に対応してまいります。

銅箔については、主力のキャリア付極薄銅箔(MicroThin™/マイクロシン)は、2014年

した。今後もグローバル展開を進める中で効率的なものづくり体制の構築を進めていきます。

一方、「守り」の事業戦略としては、ダイカスト事業を会社分割により分社化し、2014年7月に三井金属ダイカスト株式会社として再スタートいたしました。再スタートから1年ですが、新体制の下での経営の効率化、意思決定の迅速化、お客様のニーズに対するきめ細かい対応等により、収益基盤を確立することができました。機能材料事業では、銅箔のプロダクトミックスの改善を行っています。上尾事業所で生産している付加価値の高い製品の一部をマレーシアにシフトして採算性を改善することを進めており、引き続き収益改善を目指します。

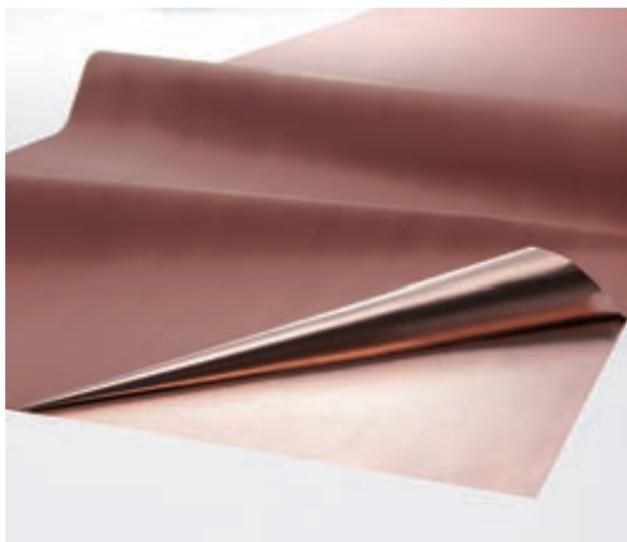
Q3 2015年度の見通しと中長期的に注力する今後の取り組みをお聞かせください。

13中計の成果を確実なものとし、中長期的な戦略でさらに収益力向上を目指します。

13中計の最終年度となる2015年度においては、排ガス浄化触媒、リサイクル製錬等の事業戦略が計画どおりの成果を上げる手応えを感じています。業績は、売上高4,850億円、営業利益360億円、経常利益360億円、当期純利益

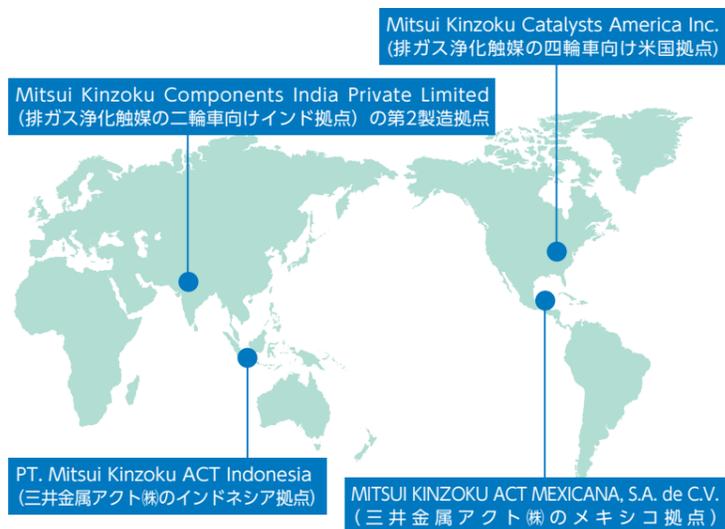


アタラヤ鉱区の探鉱の様子



MicroThin™

「攻め」の事業戦略における海外展開



排ガス浄化触媒



自動車用ドアロック

234億円を見込んでいます。事業環境の変化のスピードは速く、不透明な状況が続くと思われませんが、取締役一同、目標必達に向けてしっかりと経営の舵を取ってまいります。

今後の事業展開としては、グローバル市場におけるさらなる成長を目指し、積極的に新設を進めた海外拠点を安定操業させ、収益に貢献させることが重要だと考えています。

特に注力している排ガス浄化触媒では、当社は省貴金属化という技術トレンドに強みをもっており、二輪車向け市場の世界シェア6割に加えて、現在マイナーシェアである四輪車向け市場にも積極的に参入していきます。新たに設置した四輪車向けの米国拠点では7月から量産開始を予定しており、この省貴金属という優位性を



もって、徐々にシェアを拡大していきたいと考えています。

これまでご心配をおかけしてきたカセロネス銅鉱山もフル操業を機に2016年度以降の収益貢献規模は大きくなってまいりますので、ご期待いただければと思います。今後もパンパシフィック・カップ株式会社との経営管理を通じて、操業状況を的確に把握するとともに、当社としても最適・最善な方法で対応していきたいと考えています。

また、4月に発表いたしましたですが、神岡鉱業株式会社(当社100%子会社)が有する5つの水力発電所の大規模更新(投資総額約220億円)を行い、2019年4月の稼働を目指します。更新後20年間は発電した電力全てを電力会社に販売し、神岡鉱業株式会社の収益力向上につながります。

水力発電所の大規模更新については、「CLOSE UP」でご紹介しております。

これらのことなどを踏まえながら、2015年度は、次期中計(16中計)の策定作業に入ります。中計策定チームを編成し、事業セグメントごとに10年後のありたい姿を描き、その実現に向けて各事業ラインで具体的な打ち手を検討し2016年4月からスタートを切りたいと考えています。継続的および客観的に事業性を評価できる体制づくり、各事業分野(ポートフォリオ)

CLOSE UP

神岡鉱業、水力発電所大規模更新 〜クリーンエネルギー利用拡大に貢献〜

水力発電は、CO₂(二酸化炭素)をほとんど発生させないクリーンなエネルギーと言われています。当社グループの神岡鉱業株式会社(岐阜県飛騨市)では、保有する10か所の水力発電所において亜鉛の電解製錬を主用途とした自家発電を行っています。



神岡鉱業株式会社外観

ですが、このうち双六川水系の金木戸発電所、金木戸第二発電所および跡津川水系の跡津発電所、土第一発電所、土第二発電所の5発電所は1920年(大正9年)から1964年(昭和39年)にかけて運転を開始したもので、近年では老朽化が相当進んでいるため、本年6月から大規模な設備更新工事(投資総額約220億円)を開始しました。

更新工事の内容は各発電所における導水路、水圧管路、水車、発電機および主要な変電所や送電線等といった設備更新であり、2018年度(平成30年度)までに完了予定としています。この更新によって発電能力も5%向上し、最大出力は約35,000kW(一般家庭で言えば70,000軒における使用量)となります。なお、更新後の2019年(平成31年)4月から20年間、この5発電所で発電した電力をすべて北陸電力株式会社へ販売することとしており、神岡鉱業株式会社は年間約50億円超の売り上げを見込んでいます。

当社はこの大規模更新をはじめとして、地熱、水力および太陽光などの再生可能エネルギーの開発によりクリーンエネルギーの利用拡大に貢献するとともに、今後も地球環境に配慮した事業活動に努めてまいります。

のバランスの良い発展を図り、この次期中計を通過点としてさらなる成長を目指していきます。

Q4 株主還元に関するお考えをお聞かせください。また、株主の皆様にはメッセージをお願いします。

今ある強みのさらなる進化を目指しながら、株主還元にも努め、新商品、新規事業の創出を通じて持続的成長を実現する企業を目指していきます。

株主還元につきましては、将来の事業展開と経営体質強化のために必要な内部留保を確保しつつ、業績に応じた適切な利益配分を実施していきたいと考えています。2015年3月期の配当は、この考えに基づいて、前期の1株当たり4円の配当に対して2円増配し、1株当たり6円とさせていただきます。今後も、業績向上により株主の皆様への還元を努めてまいります。

変化する市場のニーズをしっかりとくみ取りながら自分たちの強みをより強化するとともに、その強みを活かして新規事業の創造を進め、これからも持続的に成長する三井金属として、歩みを進めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。



金木戸発電所



跡津発電所

用語解説

神岡鉱業株式会社

当社100%子会社で鉛や亜鉛製錬を主とする製錬会社。1986年(昭和61年)当社神岡鉱業所を分離し、設立。

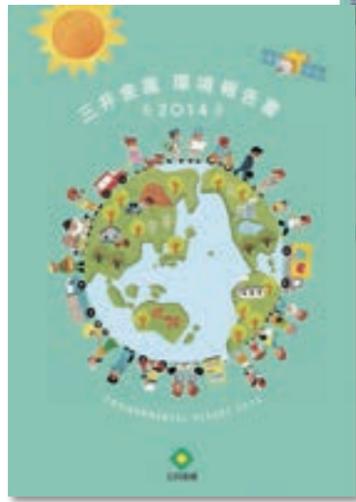
水圧管路

水力発電所で、上部の水槽または貯水池から発電所の水車に水を導く急勾配(こつばい)送水管。

2014年

当社は、埼玉県上尾市の触媒事業部に新たな研究開発棟を建設しました。この研究開発棟は、二輪車向けから四輪車向けへ事業領域の拡大やインドおよび

11月
排ガス浄化触媒の研究開発棟を建設
四輪車向けの開発体制を強化



当社CSRサイトにてご覧いただけます。
三井金属 CSR 検索
http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/csr/



10月
「環境報告書2014」を発行
三井金属グループの製品や技術による
環境保全等の取り組みをレポート

ステークホルダーの皆さまに当社の環境に対する考え方と活動状況をお伝えする「環境報告書2014」を発行しました。三井金属グループの製品や技術による環境保全等の取り組みとして、特に二輪車や四輪車の排ガスに含まれる有害物質を無害化する当社の排ガス浄化触媒事業にスポットを当てて分かりやすく説明しています。

2015年

三井金属アクト株式会社は、インドネシアに自動車機器事業の製造・販売子会社「PT. Mitsui Kinzoku ACT Indonesia」の工場を同国カラワン県に建設し、3月に開所式が執り行われました。工場が完成したことにより、同国におけるドロックの製造を本格化させ、拡大する自動車需要を取り込んでいきます。

3月
インドネシアに
自動車用ドロックの工場を建設
さらなる事業の拡大を目指す



新たに建設した研究開発棟

中国の二輪車への対応強化を目的としており、触媒物性・性能評価などの装置を拡充し、数年先の排ガス規制やエンジン機種を標準とした開発に取り組んでいます。この研究開発体制強化により、二輪車向けに加え四輪車向け市場の本格参入に向けて今まで以上に開発速度を加速させてまいります。



開所式のテープカットの様子

12月	11月	10月	9月	8月	2015年7月	今後のIRスケジュール
下旬	上旬	下旬		上旬	上旬	
	第91期上半期報告書発送	2016年3月期第2四半期決算発表	環境報告書2015公開	2015公開	2016年3月期第1四半期決算発表	

決算のポイント

POINT 1

機能材料、金属、自動車機器、関連の全セグメントにおいて堅調に推移し、売上高は前期比322億円(7.3%)の増収。

POINT 2

損益面では、排ガス浄化触媒、極薄銅箔等の増販や円安効果とそれに伴う在庫要因による影響、金属価格の上昇等により、営業利益は前期比60億円(23.7%)の増益。経常利益は、チリのカセロネス銅鉱山の減損損失等による影響はあったものの、前期比74億円(54.5%)の増益。さらに持分変動利益等の特別利益、税金費用等を計上した結果、当期純利益は前期比135億円(370.7%)の増益。

POINT 3

第91期については、売上高4,850億円、営業利益360億円、経常利益360億円、当期純利益は234億円を見込み、配当は6円を予定。

売上高	4,732億円	(前期比7.3%増)
営業利益	318億円	(前期比23.7%増)
経常利益	210億円	(前期比54.5%増)
当期純利益	172億円	(前期比370.7%増)

※第91期の業績見込みにつきましては、2015年5月8日現在において入手可能な情報に基づき作成したものでありますので、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

セグメント別業績の概況

<p>関連</p> <p>売上高 1,185億円 (前期比6.5%増)</p> <p>経常利益 48億円 (前期比58.2%増)</p> <p>●当期のポイント 各種産業プラント等は、海外、国内ともに堅調であったことから売上高は増加。経常利益は、各種製品の販売量の増加やコスト削減効果等により増益。</p>	<p>機能材料</p> <p>売上高 1,532億円 (前期比12.1%増)</p> <p>経常利益 121億円 (前期比25.3%減)</p> <p>●当期のポイント 二輪車向け排ガス浄化触媒の新興国における排ガス規制の強化を背景とした販売量増加、高機能用途の極薄銅箔の需要堅調、汎用向け電解銅箔でのアジアを中心とした海外での拡販等により売上高が増加。経常利益は、前期に計上した薄膜材料のたな卸資産の見積り変更による影響の剥落等により減益。</p>
<p>自動車機器</p> <p>●当期のポイント 国内市場での消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動減の影響による需要の減少はあったものの、米国経済の回復やガソリン価格の下落により北米市場が堅調に推移したことから売上高が増加。経常利益も増益。</p> <p>売上高 1,045億円 (前期比16.0%増)</p> <p>経常利益 50億円 (前期比26.9%増)</p>	<p>金属</p> <p>●当期のポイント 主要地金である亜鉛のLME(ロンドン金属取引所)価格が前期に比べて上昇し、さらに円安効果により国内価格が上昇したことから売上高が増加。経常利益も増益。</p> <p>売上高 1,401億円 (前期比11.5%増)</p> <p>経常利益 127億円 (前期比185.4%増)</p>

売上高構成比: 関連(23.0%), 機能材料(29.7%), 自動車機器(20.2%), 金属(27.1%)

※各セグメントの売上高および経常利益はセグメント間の内部売上高または振替高を含んでいます。

ホームページのご案内

当社ホームページでは、最新のニュースやIR情報など当社をご理解いただくための様々な情報を提供しております。



株主・投資家情報



「個人投資家の皆さまへ」では、事業内容や専門用語の解説、株式事務手続きなどの情報をまとめてご紹介しています。

三井金属

検索

<http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/>

会社概要 (2015年 3月 31日現在)

商号 三井金属鉱業株式会社

(Mitsui Mining & Smelting Co., Ltd.)

[呼称：三井金属/MITSUI KINZOKU]

本店 東京都品川区大崎一丁目11番1号

設立 1950年5月1日

資本金 42,129百万円

従業員数 連結 10,804名

単体 1,611名

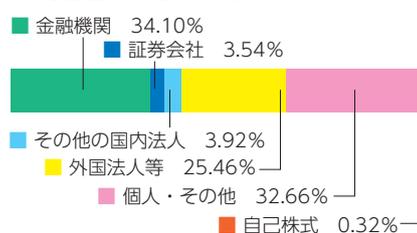
株式の状況 (2015年 3月 31日現在)

発行可能株式総数 1,944,000,000株

発行済株式総数 572,966,166株

株主数 46,602名

所有者別株式分布状況



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	49,234	8.62
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	34,924	6.11
CBNY-ORBIS SICAV	31,064	5.43
全国共済農業協同組合連合会	23,291	4.07
三井金属社員持株会	11,978	2.09
CBNY-ORBIS FUNDS	9,778	1.71
三井生命保険株式会社	5,986	1.04
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 5)	5,925	1.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 6)	5,890	1.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口 1)	5,852	1.02

※持株比率は自己株式(1,842,579株)を控除して計算しております。

※記載持株数は、千株未満を切捨てて表示しております。

株主メモ

定時株主総会の議決権の基準日 3月31日
 期末配当の基準日 3月31日
 中間配当の基準日 9月30日
 定時株主総会 6月下旬

株主名簿管理人・特別口座管理機関
 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社

同連絡先
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 ☎0120-782-031

公告の方法

電子公告とする。
[\(http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/\)](http://www.mitsui-kinzoku.co.jp/)
 ただし、事故その他やむをえない事由によって電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載して行う。

〈株式事務のお取扱い〉

1. 未払配当金の支払のお申出先
 左記三井住友信託銀行にお申し出ください。
2. 住所変更、単元未満株式買取等のお申出先
 ①証券会社の口座へ株式をお預けになられている株主様は、お取引のある証券会社にお申し出ください。
 ②証券会社の口座へ株式をお預けになられていない(特別口座に記録されている)株主様は、左記三井住友信託銀行にお申し出ください。

三井金属鉱業株式会社

総務部 〒141-8584 東京都品川区大崎一丁目11番1号
 TEL:03-5437-8240



環境に配慮した FSC® 認証紙と植物油インキを使用しています。